

## 豊郷町立学校施設の耐震化の状況について

平成 26 年 12 月 1 日時点

### 趣旨

学校施設は、園児、児童および生徒等が 1 日の大半を過ごす場所であるとともに、災害時には地域住民の緊急避難場所としての役割を果たすことから、その安全性の確保は極めて重要といえます。当町では、平成 25 年度中に学校施設の耐震診断を完了し、その結果を基に平成 26 年度に全ての耐震化を終了しました。

そこで、当町の学校施設の耐震診断結果および改修状況について下記のとおりまとめましたのでお知らせします。

### 耐震化率

区分	校園数	全棟数 a	耐震性あり b	耐震性なし	耐震診断中	耐震化率 b / a
幼稚園	1	1	1	0	0	100.0%
小学校	2	4	4	0	0	100.0%
中学校	1	10	10	0	0	100.0%
計	4	15	15	0	0	100.0%

校園別状況一覧

校園名	建物区分	構造区分	階数	面積 (㎡)	耐震 基準	耐震診断		改修後	
						年度	Is 値	年度	Is 値
豊郷幼稚園	園舎	S	1	886	新基準	—	—	—	—
豊郷小学校	校舎	R	3	4,581	新基準	—	—	—	—
	屋内運動場	S	1	800	新基準	—	—	—	—
日栄小学校	校舎	R	2	3,426	新基準	—	—	—	—
	屋内運動場	R	1	626	旧基準	H18	0.27	H20	0.79
豊日中学校	校舎	R	3	2,267	旧基準	H25	0.74	H26	0.73
	校舎	R	3	263	新基準	—	—	—	—
	特別教室	R	3	1,179	旧基準	H25	0.87	H26	0.87
	木工金工室	S	1	260	旧基準	H14	1.3	—	—
	渡り廊下	R	3	61	旧基準	H14	0.97	—	—
	機械室(校舎側)	R・S	3	62	旧基準	H25	0.03	H26	1.15
	機械室 (特別教室側)	R・S	3	56	旧基準	H25	0.03	H26	1.39
	エレベーター(校舎側)	S	3	36	新基準	—	—	—	—
	エレベーター (特別教室側)	S	3	36	新基準	—	—	—	—
	屋内運動場	R	2	1,313	新基準	—	—	—	—

※表の見方（用語の解説）

1 構造区分

- ・「R」鉄筋コンクリート造、「S」鉄骨造

2 耐震基準

- ・「旧基準」新耐震基準施行（昭和56年6月）以前に建築された建物。
- ・「新基準」新耐震基準施行後に建築された建物で、耐震性がある建物。診断等を行う必要がないため欄中「—」で表記しています。

3 耐震診断

- ・診断方法は、個別の建物の耐震性能を詳細に評価する方法（第2次診断）を実施しています。
- ・診断を実施した「年度」および「Is 値」を記載しています。また、診断中のものについては、「Is 値」欄に診断中と記載しています。

4 改修後

- ・診断結果により改修を行なった「年度」および「Is 値」を記載しています。また、改修中のものについては、「Is 値」欄に改修中と記載しています。

5 Is（構造耐震指標）値

- ・建築物の耐震性能（地震に対する安全性）を数値化したもので、その値が大きいほど耐震性能が高いことを表します。
- ・国土交通省告示等によれば、第2次診断等により算定した Is 値が 0.6 以上の場合は、耐震性がある建物となります。